



ラグビーで培ったフェアプレーの気持ちを、世の中にもっと広げていきたい

廣瀬俊朗さん 元ラグビー日本代表キャプテン

フェアプレーは、日常生活にもつながっている

ラグビー日本代表のキャプテンとして活躍した廣瀬俊朗さん。ラグビーは相手と激しくぶつかり合うからこそ、フェアプレーを重んじるスポーツであることを話してくれました。「例えば、相手チームの誰かがけがをした場合、そのまま試合を続けられればチャンスなのに、倒れた相手のことを思ってプレーを止めることは自然に行われています。みんなラグビーが好きで一生懸命にやっているのだから、フェアプレーをしない選手やチームはいずれ必要とされなくなります。現在、廣瀬さんはラグビーで培ったフェアプレーの気持ちを活かして、スポーツ界だけでなく世の中全体をより良くしていく活動に取り組んでいます。「例えば、ゴミをちゃんと分別して捨てれば、環境への負担が軽くなるし、みんなが優しく、



選手時代の廣瀬さん

気持ちはよくなる。このようにみんなの身の回りでもフェアプレーは活かすことができます。」

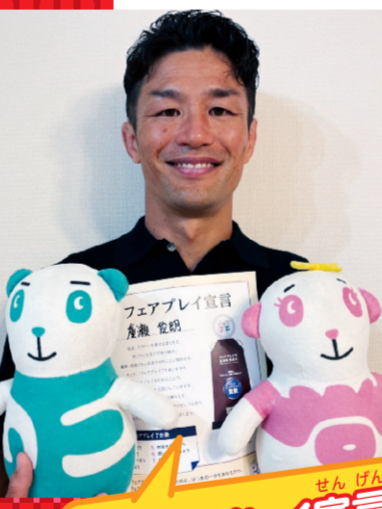
「今の苦しさが、みんなを成長させてくれる」

廣瀬さんは、中学校から日本代表まで、所属してきたすべてのチームでキャプテンを任されてきました。キャプテンがチームを引っ張り、仲間



廣瀬さん

がそれを盛り上げていく。スポーツに限らず、リーダーを中心にみんながまとまっていくことの大切さを知り尽くしている廣瀬さんから、リーダーやリーダーを支えるみんなへ、メッセージをいただきました。「現在はコロナという状況で、チームとして思うように活動ができず、悩んでいると思います。でも、悩み苦しんでいるのは自分だけではないということをもっと知ってほしい。周りのせいにして、状況は変えられませんが、悩みもがきながら、今できることを実際に行動してみると、それが大事だと思えます。とても苦しい時だと思えますが、それがきつくとみんなを成長させてくれるはずですよ。」



「フェアプレイ宣言」しました!!

昔はトライすると、得点が得られるゴールキックに挑戦(トライ)できるだけでした。しかし「トライの方が盛り上がる」などの理由により、トライでも得点が入るようになったのです。



【答えB】

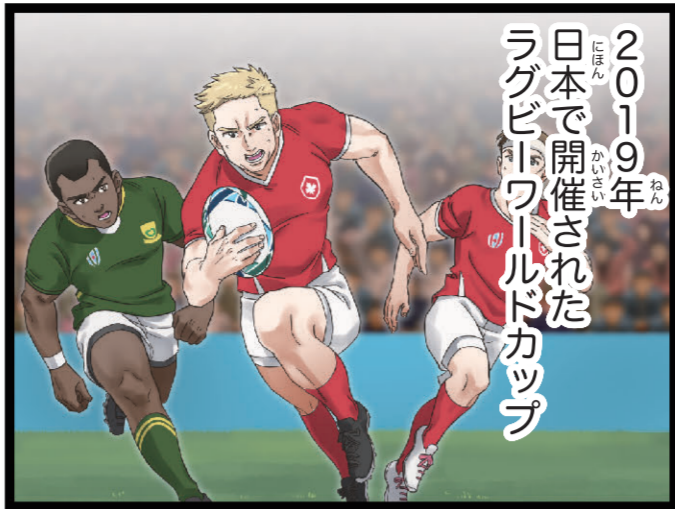
問題 ラグビーでは相手ゴールラインの向こうにボールを置くと得点になりますが、ゴールではなくトライと言います。なぜでしょう。

- A ラグビーは挑戦(トライ)するスポーツだから
- B 昔はトライしても得点が入らなかったから
- C ラグビーを始めた少年が「トライ!」と叫んだから

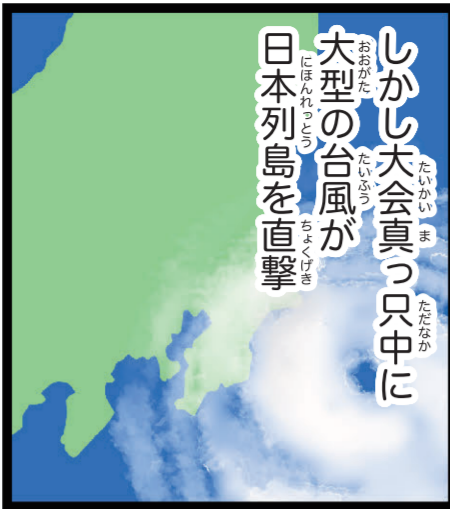
スポーツものしりクイズ

試合を離れてもフェアプレー

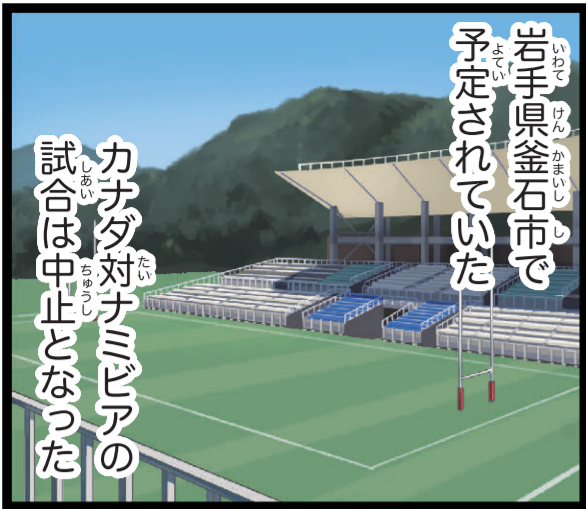
ラグビーカナダ代表チーム



2019年日本で開催されたラグビーワールドカップ



しかし大会真っ只中に大型の台風が日本列島を直撃



岩手県釜石市で予定されていたカナダ対ナミビアの試合は中止となった



台風が通過した翌日の釜石市



事前合宿で友好を深めてくれた人たちが



大会を支えてくれた人たちの姿が浮かんでいた



カナダチームミーティング

試合が中止になったのは残念だ

今は最高のプレーをするために力を尽くしてくれた日本の皆さんに恩返しをしよう

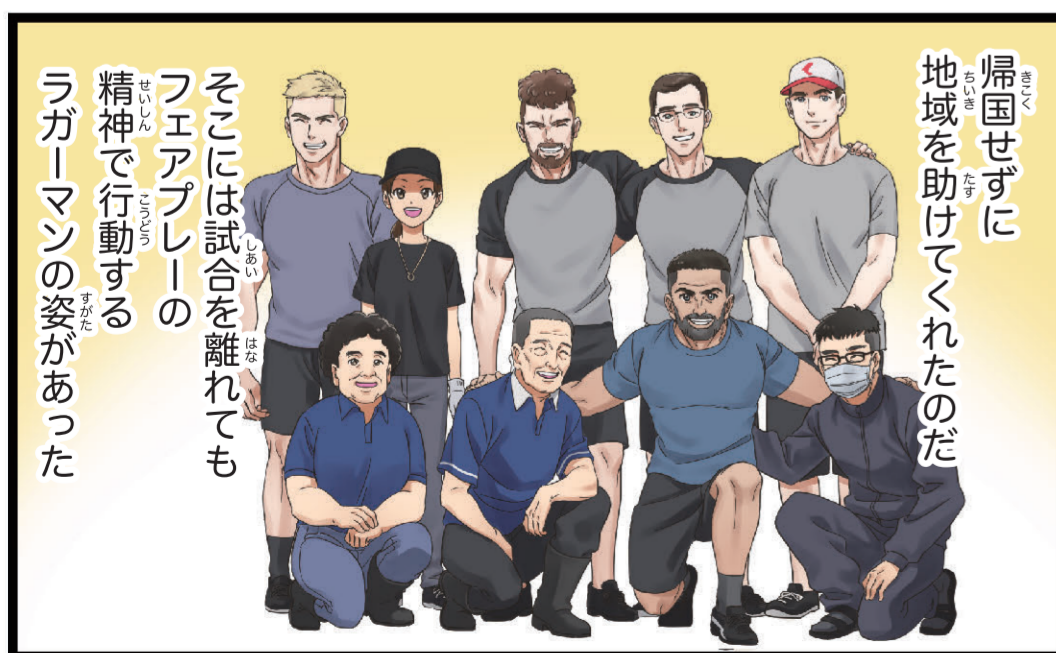


カナダチームはボランティアをすすんで行い

道路を埋めている土砂の撤去をしたり

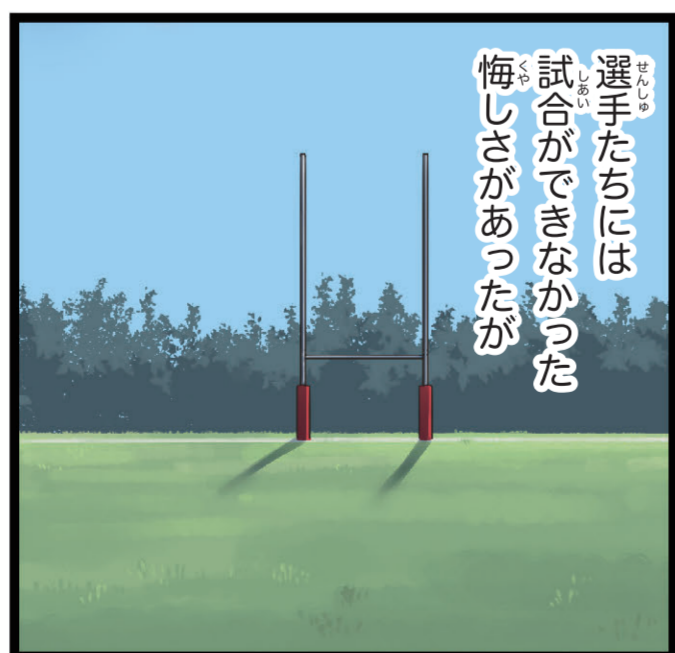


水害で壊れた家具などを運び出したりした



帰国せずに地域を助けてくれたのだ

そこには試合を離れてもフェアプレーの精神で行動するラグーマンの姿があった



選手たちには試合ができなかった悔しさがあつたが